

## A卷

满分： 150分

- A. なさった                      B. 差し上げた  
C. 頂戴した                      D. おいでくださった
9. 悪いと思うなら素直に「ごめん」と（ ）、弟はそれができなくて、すぐ言い訳する。
- A. 謝ろうとしないのだから    B. 謝っているところに  
C. 謝ればいいものを            D. 謝らない限りは
10. 夫 「見て。実家から米が届いたよ。」  
妻 「わあ、すごい。これだけたくさんあれば、私たち、当分お米は（ ）ね。」
- A. 買ってきてはないんだ        B. 買ったきりになってる  
C. 買わなくて済みそうだ        D. 買うつもりじゃなかった
11. 世間はオリンピックの話題で盛り上がっているが、私はオリンピックには（ ）興味がない。
- A. とうとう                      B. まるで  
C. 二度と                        D. たとえ
12. 調査の結果、南北川の水質汚染の原因はA社の工場にあることが明らかになったにもかかわらず、A社は決してそれを（ ）。
- A. 認めるほかはなかった        B. 認めないでもなかった  
C. 認めようとはしなかった      D. 認めねばならなかった
13. 学生時代によく通ったこの喫茶店に來ると、あの頃のことが昨日のことのよう（ ）。
- A. 思い出される                  B. 思い出す  
C. 思い出さだろう                D. 思い出させた
14. 高さ 700 メートルを超すこの超高層ビルは、高成長を続けるA国の象徴（ ）存在となっている。
- A. にするべく                      B. ともいうべき  
C. があるらしい                  D. でもなるような
15. 田中 「部長、先日提出した書類なんですが、あれで大丈夫でしょうか。」  
部長 「あ、ごめん。まだ見てない。」  
田中 「そうですか。すみませんが、なるべく早く（ ）。」
- A. 見ていただくと助かるですが    B. 見ていただくんでしょうか  
C. 見ていただいたと思うんですが    D. 見ていただいてはいかがでしょうか
16. 祖母は、昔、幼稚園の先生を（ ）、昔話や童話をたくさん知っている。
- A. していたからには              B. していたとは  
C. していたところ                D. してただけあって
17. 私の会社ではどんな理由があろうと、業務に関するデータや資料を社外に持ち出すことは、（ ）認められていない。
- A. いっさい                        B. むしろ  
C. かならず                        D. どうしても
18. 彼は最近忙しいので、頼んでも、無理だと（ ）が、一度は頼んでみようと思う。
- A. 言わせる始末だ                B. 言わせるということだ

- C. 言われるに決まっている D. 言われるまでになる
19. 山田 「ねえ、この料理、木村さんが作ったの？」  
木村 「うん。」  
山田 「とってもおいしい。今度作り方教えて。時間があるとき（ ）。」  
A. がいいし B. でいいから  
C. ならいいのに D. でもいいけど
20. 大学では昨年カリキュラム改定が行われたが、それによって本当に教育の質が向上している（ ）。私はそうは思わない。  
A. といえるだろうか B. と言えないではないか  
C. べきではないだろうか D. べきであるか否か

## 二、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(40 点)

### (一)

人間と人間とが結びつくのは、言語を通してである。当たり前の話だ。そして私たちは日本人だから、日本語なら自由に使えるはずだと思い込んでいる。しかし、この当たり前のことを疑ってみよう。私たちは、ほんとうに言葉において自由であるか。また、人間と人間とが言葉を通して結びつくと言うけれど、ほんとうに結びついているのか。「結びつく」とは、どういうことなのか。

誰でも経験していることが一つある。たとえば音楽を聞いたり、絵を見たり、また読書などで、心に深い感動を受けた時、あるいは心の中に多少でも複雑な悩みのある時、私たちはどういう状態に陥るか。だれでも経験することは、まずものが言えなくなるということだろう。言葉を失うわけだ。①感動の深さや悩みの深さにそれは比例する。沈黙せざるを得ないような状態に陥る。

ところで深い感動や悩みは、言葉を失わせるが、本人は今度は、②そういうことほど人に伝えたくなるものだ。自分がほんとうに表現したいと思うことは、一番表現しにくいことだと言ってもよかろう。ここで当然起こるのは言葉の困難である。どんな言葉を使って、いかに表現したら少しでも自分の考えや感じを明らかにすることができかを模索する。言葉との格闘がここに始まる。それが精神というものの目覚めである。言葉を開拓することが、( A )を開拓することである。

ところが、これがたいへん苦しいことだ。だから怠ける人は、だれか他人が使った言葉、あるいは新聞や雑誌でよく見かけるありきたりの言葉を使って、安易に表現してしまう。そのとき生ずるのは言葉の③平均化である。それは同時に、精神の平均化である。平均化することで安心している場合が多い。だれもが同じようなことを言う、それで一応は気が楽になるものだ。画一性とは、( B )のようなものであろう。

大切に微妙な言葉ほど表現しにくい。④微妙性を撤退的に追求するのが文学だと言ってもよかろう。この種の「文学」は万人の心の中にひそんでいる。だれだって言いたいことを十分には言えないで、心の中で悶えているのだ。そういう状態にお互いに敏感であること。それが愛情というものだ。人間と人間との結びつきは、この点で辛うじて可能となるのではなかろうか。

問 1 下線部①表す意味を 20 字以上 40 字以内で説明しなさい。(3 点)

問 2 下線部②「そういうこと」は何をさすか。7 文字を文中の言葉で答えなさい。  
(2 点)

問 3 ( A )に入れるのに最も適当な漢字 2 字を文中の言葉で答えなさい。(2 点)

問 4 下線部③「平均化」と似たような言葉を文中から探し出しなさい。(2 点)

問 5 ( B )に入れるのに最も適当な言葉を、次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。(2 点)

- ア、 臆病な精神にとっての避難の場
- イ、 勤勉な精神にとっての修行の場
- ウ、 怠惰な精神にとっての安息の場
- エ、 潔癖な精神にとっての試練の場

問 6 下線部④「微妙性を撤退的に追求する」という意味を文中の言葉で答えなさい。  
(3 点)

問 7 この文章で「人間と人間とが言葉を通して結びつく」ためには、どんな心構えが必要なのか、次から適当なものを二つ選びなさい。(2 点)

- ア、 自分の気持ちに忠実に、的確な言葉で表現する。
- イ、 自分の気持ちを抑えて、わかりやすい言葉で表現する。
- ウ、 自分の言葉は不完全であるから、余分なことを言わない。
- エ、 相手のほんとうに表現したいことを、鋭く察知する。
- オ、 相手の言葉は不完全であるから聞き漏らさない。
- カ、 言葉に惑わされず、相手の気持ちを見抜く。

(二)

日本というと、まず島国で、そして狭いという連想が、三題話のように語られる。アメリカやカナダやソ連や中国やオーストラリアに比べれば、それは狭い。しかし、日本列島の最北端宗谷岬に人差し指を置き、最西南端の与那国に親指を置く。開いた指の横のまま、地球儀を半回転させてアジア大陸からユーラシア大陸の西端に持って行く。人差し指を北欧のフィンランドのヘルシンキに置くと、親指はスペインやポルトガルを優に含んでしまう。コンパスのようにぐるっと回転させると、地中海をまたいて北アフリカにふれ、エーゲ海やギリシアはとっくに含んで、トルコにまで行ってしまう。

全ヨーロッパを含む範囲である。日本は狭いと言ったのはだれだろうか。東西は多少帯状であるが、南北にはとてつもなく長い。全ヨーロッパを含んでしまうほどである。

南北に長いということは、気候の変化が激しく、①風土のひだが深いということである。人の暮らしとは、( A ) を解読してその地でいちばんよい方法を織り上げていくのであるから、②風土の条件に合わせて生きる形が変わってくるということなのだ。日本が東西に長くなってよかった。もしそうだったら、気候の変化のない代わりに時差が三時間ほどもあって、非常に暮らしにくい所になったはずだ。

ある年の一月末、私は北海道の知床の流水の上にいた。テレビの仕事で、流水の下に⑦モグった水中カメラが送ってくる。⑧エイゾウを、流水の上に設置されたモニターで見たのである。流水の下の水は氷点下 1.5 度、これ以下下がると凍結してしまう水温である。流水の下は⑨ブアツい水に⑩オオわれているために暗く、時間のたつのもわからなくなってしまう。しかし、流水の上はたそがれになり、気温もぐんぐん下がってマイナス 20 度になった。風速 1 メートルで、体感気温は 1 度下がる。風速 10 メートルぐらいの風は、冬の知床辺りでは当たり前だ。すると私はマイナス 30 度のところに立っていたということになる。

翌日私は東京の自宅に帰って一泊した。その翌日、別の仕事で沖縄に行ったのである。那覇空港に降り立つと、桜が咲いていた。確かめると、気温は 23 度ということだ。沖縄にも友人は多く、ああ来た来たと⑪レンジツレンヤどんちゃん騒ぎをやらかし、東京の家に帰ると ア 深々とした⑫ヒロウを覚えた。厳冬一月末のころである。

私は 53 度の気温の差を イ 旅したのである。精神的には⑬コウヨウしていたせいかこの差は簡単に超えられたのであるが、肉体の深いところに⑭ヒロウが**おり**の**ようにたまった**。日本は ウ 狭くないということが、エ その時の実感だったのである。

問1. 波線部⑦～⑫のカタカナを漢字に直しなさい。(7 点)

⑦ (            )      ⑧ (            )      ⑨ (            )      ⑩ (            )  
⑪ (            )      ⑫ (            )      ⑬ (            )      ⑭ (            )

問2. 下線部①について「ひだが深い」という比喩的表現がよくわかるように説明しなさい。(3 点)

問3. ( A ) に適当な二次熟語を入れなさい。ただし「気候」「風土」以外の語が入る。(2 点)

問4. 下線部②について具体例をあげなさい。(3 点)

問5. ア から エ に次の中から適当な副詞を選んで入れなさい。(4 点)

a まさに    b 一切に    c 一気に    d さすがに    e 絶対に    f まさか  
ア                                  イ                                  ウ                                  エ

問6. 下線部③「ヒロウがおりのようにたまった」を他の言い方で言いかえなさい。(2 点)

問7. 筆者がこの文章で二つの観点から「日本の広さ」を指摘している。それぞれどんな観点か説明しなさい。(3 点)

三、次の中国語を日本語に訳し、日本語を中国語に訳しなさい。

(5点×8=40点)

1. 轮船犹如一叶扁舟在海浪中疯狂地飘舞着，仿佛马上就要翻船。让人担心不已。
2. 做母亲的眼看着自己孩子受苦，她那时的心情是，要是能够替代的话，哪怕是去死也愿意。
3. 小王想说不说的样子越发激起了大家的好奇心。
4. 老师刚离开教室，学生们简直像是等着这个机会似地马上就开始闹了起来。全是些淘气鬼。
5. 公園でしか見たことのない彼女は、山を彩る紅葉を見て思わず感激してしまった。
6. 風が窓から吹いてきたが、それはそこはかとなく春の到来を感じさせる風だった。
7. 確かに彼女は味噌汁ひとつにしても満足に作れない。母の目から見るなら嫁失格かもしれないが、しかし私には味噌汁などどうでもいいのだ。
8. 「でも、このように仕事に成功したのはまったく先生のご指導のたまものです」真由美はなにかというと、よくそんな言葉を口にした。

四、次の要領で、作文を作りなさい。(30点)

テーマ：心に残る一言

字数：700字以上 900字以内

文体：常体で書くこと